

年号	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
日本に新着を考えた 世界の住宅デザイン							
日本人建築家のデザイン							
A 洋風住宅							
B 和洋折衷型住宅							
C 数寄屋住宅							
D 書院型住宅							
E 地域伝統建築							
F 地域伝統的町屋							
G 地域近代住宅							
H 建材メーカー主導工場住宅							
J 大卒メーカー住宅							
K 現代デザイン住宅							
L 最先端建築住宅							
M 小規模デザイン集合住宅							
O 住宅博覧会							
Q 台所の普及	4%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
R 長尺金属製屋根の普及	4%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
S コロニアルの普及	4%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
T アルミサッシの普及	1990KKAP認定 (KKKグループ)の認知(普及)						
マンションの普及							
エコハウスの普及							
健康家の普及							
プレファブ建築の普及							
PM							
PA							
PP							

古民家モノサシ・住宅デザイン百年集 1920~2020

本部 東京都世田谷区代田 3-48-5 梅ヶ丘アートセンター
 事務局 東京都国立市富士見台 2-12-32

代表理事 丸谷博男(株式会社エーアンドエー・セントラル代表取締役)
 理事 若原一貴(日本大学芸術学部教授)
 理事(事務局長) 磯貝左千夫(株式会社ジェイボックス代表取締役)

東北エリア 高木正基(高木電気管理事務所) 北陸エリア 永森裕章(株式会社ジュープラス)
 関東・沖縄エリア 菅原律子(菅原律子設計事務所 4tiS) 関西エリア 上原弘一郎(ウイズダムデザイン)
 関東エリア 萩原太介(株式会社ホーム空間創建) 関西エリア 新堂雄美(ASAP. デザインラボ)
 静岡エリア 永田章人(株式会社永田デザイン) 九州エリア 金子知史(金子工務店)
 浜松エリア 大石智(有限会社大石設計室)

エコハウス研究会会報 2022年冬号(第12号) 2022年12月10日発行

エコハウス研究会季刊紙
そらどま 2022年冬号
 第12号
 2022.WINTER vol.12



CONTENT

丸谷博男(代表理事)
 古民家モノサシ・住宅デザイン百年集

表紙
 IDEA CENTER 浮輪寮 設計・丸谷博男



年	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929	1930	1935	1940	1945	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985		
記号	A			B			C			D			E			F			G			H		
日本の住宅デザイン	<p>1924年 昭和2年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1925年 昭和0年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1926年 昭和1年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1927年 昭和2年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1928年 昭和3年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1929年 昭和4年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1930年 昭和5年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1935年 昭和10年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1940年 昭和15年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1945年 昭和20年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1950年 昭和25年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1955年 昭和30年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1960年 昭和35年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1965年 昭和40年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1970年 昭和45年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1975年 昭和50年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1980年 昭和55年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1985年 昭和60年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p>																							
日本人建築家のデザイン	<p>1926年 昭和1年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1927年 昭和2年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1928年 昭和3年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1929年 昭和4年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1930年 昭和5年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1931年 昭和6年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1932年 昭和7年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1933年 昭和8年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1934年 昭和9年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1935年 昭和10年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1936年 昭和11年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1937年 昭和12年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1938年 昭和13年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1939年 昭和14年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1940年 昭和15年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1941年 昭和16年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1942年 昭和17年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1943年 昭和18年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1944年 昭和19年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1945年 昭和20年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1946年 昭和21年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1947年 昭和22年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1948年 昭和23年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1949年 昭和24年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1950年 昭和25年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1951年 昭和26年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1952年 昭和27年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1953年 昭和28年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1954年 昭和29年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1955年 昭和30年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1956年 昭和31年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1957年 昭和32年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1958年 昭和33年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1959年 昭和34年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1960年 昭和35年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1961年 昭和36年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1962年 昭和37年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1963年 昭和38年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1964年 昭和39年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1965年 昭和40年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1966年 昭和41年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1967年 昭和42年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1968年 昭和43年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1969年 昭和44年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1970年 昭和45年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1971年 昭和46年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1972年 昭和47年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1973年 昭和48年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1974年 昭和49年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1975年 昭和50年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1976年 昭和51年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1977年 昭和52年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1978年 昭和53年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1979年 昭和54年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1980年 昭和55年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1981年 昭和56年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1982年 昭和57年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1983年 昭和58年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1984年 昭和59年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p> <p>1985年 昭和60年 建築雑誌「近代建築」創刊号に掲載された「新建築」の扉表紙デザイン</p>																							

■古民家モノサシ・住宅デザイン百年集

建物分類	解説
A 洋風住宅	1860年代の江戸時代末期に長崎の丘の上に建てられたグラバー邸が洋風建築の先駆けとなった。1896年には、ジョシア・ランドが設計した岩崎邸なども建てられた。その後、各地で洋風建築が見られるようになった。1919年に台湾の古物商の邸宅として現在の形（洋館、西洋館、日本館）が築かれた。
B 和洋併用型住宅	大正時代は、生活の近代化を目指す運動が起る。都市では、電気、ガス、水道設備の整備が進み、住宅にも機能性の追求、中層下式住宅普及、中層下式住宅普及、中層下式住宅普及などが行われ、日当たりの良い南向きの生活空間を、北側に水回りや使用人の生活空間を配置した。さらに玄関に独立した洋風の応接間を設ける様式も「文化住宅」という名で流行した。文化住宅では、大正時代から昭和時代にかけて流行した和洋折衷の住宅。応接室や玄関に洋風を取り入れられた。
C 数寄屋住宅	数寄屋と呼ばれる茶室が出現したのは安土桃山時代。もとは小規模（多くは四畳半以下）な茶室を「数寄屋」と呼んだ。当初は床の間の、欄干、付書籠、座敷を往々する僧侶が建立された。身分の序列や格を維持する役割も持つようであったが、茶人たちは格別な住居に豪華な装飾を求めた。そこで作られたのが軽妙洒脱な数寄屋であった。当時の民衆は住居に使用される粗末な材料や技術をたくらみ、数寄屋が成立したが、最近では特別に高級で、高度な技術を要するものとなっている。
D 地蔵伝統住宅	江戸時代には寺院に近い町中に建てられた茶室建築の要素を取り入れた地蔵伝統住宅が流行し出した。そこは格式がこだわらず、丸太を使い、柱を多用し土壁を敷き、土間に仕上げたデザインも見える。こうした数寄屋建築は明治以降さらに洗練の度合いを増し、昭和初期に至ると庶民の茶室を超えた数寄屋建築を完成させた。庶民の住宅においても、名主相方の有力者の場合、代官を自宅に迎えるため、接客用の土地や部屋に茶室の要素である長押や、床の間の、障子などの座敷を取り入れた。明治時代には、庶民住宅にも取り入れられたが、なお座敷のある座敷は一種特別な部屋であり、家主の客室であっても座敷は立ち入れない場所であった。現存する地蔵伝統住宅は急進的に衰退し一室和室を設けない建築も当たり前となっている。
E 地域伝統建築	関西の発展・二重住宅、広間型住宅、田の字住宅（四間取り居住）、地蔵伝統民家/曲屋（まがりや）、中門連（ちゅうもんづくり）、本棟連（ほんむづくり）、合掌連（あせつづくり）、大和様（やまとむね）、高窓連（たかへんづくり）、かぶと道。
F 地域伝統民家	室町時代には京都の町衆、いわゆる商人が勢力を拡大し店舗併用住宅の町屋が急進しました。板葺き石置き屋根でまた瓦などは見られず。江戸時代になると2階建ての町屋が増え、瓦葺きの家が多くなり、屋根には御建をかける家が登場する。町屋建築は壁面は土壁や漆喰で装飾された。町屋は通りに面して並び、入り口が狭く奥に長い間取りになっているのが特徴。裏通りにはいくつかの住宅が並び、長屋が形成された。
G 昭和近世住宅	住宅博覧会から始まる。プレファブ建築から在来工法まで幅広くある。メーカーによっては当時の伝統デザインを踏襲しているメーカーもある。
H 大手メーカー主導工場住宅	プレファブ建築から在来工法まで幅広くある。メーカーによっては当時の伝統デザインを踏襲しているメーカーもある。
I 大手メーカー住宅	建築家や設計士のデザインによるもの。住宅雑誌などで書籍による普及流行がこれまでは大きな影響をもってきた。現代では、ホームページやSNSからの受注提供が多くなってきている。
J 街並型売宅住宅	大手メーカーによるもの。ほとんどの、評価も高くありその功が現代の街並みに大きな影響を持っている。ほとんど、評価もなく無批判に建設が行われている。
K 小規模デザイン集合住宅	上記の内容と同じであるが、集合住宅へのデザイン化、街並み融合化、まちな、無修型型のデザイン提案、共同型型住宅などの試みもある。
L 住宅博覧会	上記の内容と同じであるが、集合住宅へのデザイン化、街並み融合化、まちな、無修型型のデザイン提案、共同型型住宅などの試みもある。
M 合板の普及	1931 ラワン合板の生産が本格化。1923 関東大震災の復興に合板が活躍。1927 米松、米杉（輸入木材）を使って合板をつくる。1935 農林省が合板及び単板の日本産規格（JAS）を制定。1955 接着剤メーカーが国内初のウリア・メラミン樹脂系の開発に成功、発売。
N 長尺金属屋根の普及	1963 長尺屋根の普及団体 社団法人日本長尺金属工業会設立
O コロニアルの普及	1951 久保田がコロニアルを生産販売開始。
P アルミサッシの普及	1958 不二製作所、東海がアルミサッシの技術を導入。1959 レイメードアルミサッシ登場。1960 アルミサッシ、初のIS規格A4703（引違い、上げ下げ）制定。1965 住宅用引違いアルミサッシ（規格品）発売。
Q マンションの普及	我が国最初の長間分譲マンションは1956（昭和31）年、日本信販が売上の「四谷コボラス」で、東京新宿区西に分譲されました。5階建てで総戸数28戸の小規模物件ながら、分譲価格は3LDKで230万円でした。現在「四谷コボラス」には建て替え事業が進行中。
R エアコンの普及	1936年 電機冷蔵庫開始。1951年 セレート型（室内機と室外機が分かれている）が発売される。1960年 ヒートポンプ（冷媒ガスの流れを切り替え、冷房・暖房ができる）が発売される。1981年 インバータ（圧縮機の回転数を自在に変えられる）エアコンが発売される。1985年 GHP（ガスヒートポンプ）エアコンが発売される。1990年 薄型室外機小型化され、新冷媒R410Aを使用したエアコンが発売される。空気清浄機や脱臭機能も付いたものも登場。自動でフィルター清掃をするものなど、どんどん便利なものが出てくる。
S 床暖房の普及	建築物の中の床暖房は、1965年に神奈川県会議場に作られたものが最初です。その後、一般の住宅に取り入れられたのは1970年になってからでした。1975年には温水式の床暖房が登場し、それに続いて電気式、湯沸き式の床暖房や学校、企業にも取り入れられるようになりました。1988年以降に「フローリング用の床暖房専用」の床暖房のメーカーがでてきてはじめてました。それをきっかけにして床材メーカーが市販に積極的に参入し始め、床暖房の品質が向上し、床材の種類が増えました。
T プレファブ建築の普及	1955 プレファブハウス発売。1959 ミゼットハウス発売。1962 大和ハウスA型発売。1967 ダイワハウスB型発売。1970 ニュー春日、ニュー飛鳥発売。1977 ダイワハウススーパーOH1発売。1981 丸栄軸組併用工法Gシリーズ発売。1987 木質系住宅用耐震工法Gシリーズ発売。
U ミサワホーム	1960「木質系住宅用耐震工法」を開発。1976 企画住宅「ミサワホーム0型」発売。1987 木質系住宅用耐震工法「ミサワホーム0型」発売。1987 木質系住宅用耐震工法「ミサワホーム0型」発売。1994 大型収納付住宅「蔵のある家」発売。1998 世帯初の「ゼロ・エネルギー住宅」を発売。
V 旭化成ヘーベルハウス	1970ヘーベルハウス第1号棟を発売。1982 都市型三層住宅「フレックス3」を発売。1989 共働き家族向け住宅「ヘーベルハウスフレックス4」を発売。1992 都市型三層住宅「フレックス3」を発売。1989 共働き家族向け住宅「ヘーベルハウスフレックス4」を発売。2003 四層住宅「ヘーベルハウスフレックス4」を発売。2004 ハイパーフレーム構造に特許取得を標準仕様化。
W ハサソニックホームズ	1961 松下1号住宅発売。1994 美装コンクリート住宅「グランベルタ」がグッドデザイン賞を受賞。2004 エコタイプ住宅「エルトラボラティ」発売。2008 女性の声から生まれた住まい「ソラドモ・ユールキア」[ソラドモ・ユールキア]を発売。2009 エコタイプから「ソラドモ」を提案する住まいNEW「エルソラナ」[ソラドモ・ユールキア]を発売。2011 重慶鉄の都市型3・4・5階建「ビューノ」発売。2013 太陽光発電パネルそのもので屋根を構成「エコ・コロニス」発売。